

働く女性を支える相談窓口設置業務【旭川市】

個別事業費	3,449 千円
交付金額	1,292 千円

地域の実情と課題

女性の就業率は全国に比べて非常に低く、就業形態も非正規雇用が男性の2倍以上になっている。また、ロールモデル不足、キャリア形成の困難さから、地域での女性活躍の将来像を描きづらい環境となっている。共働き世帯の増加によって男女ともに仕事と家庭の両立を求められているが、地域社会における性別による役割分担意識が解消されないことにより、両立に課題を抱える女性が増加している傾向にある。

事業の特徴

女性が働く上で直面する様々な課題への相談支援を行う総合相談窓口の設置に向け、民間企業のノウハウを活かしながら、働く女性を対象にしたアンケートと相談窓口の試行による働く女性の相談窓口に係るニーズ調査を実施した。
さらに市内企業経営者等からヒアリングを実施し、就労に係る相談窓口と企業の人材確保支援を組み合わせた事業を構築した。

事業の効果

相談者数32人、アンケート回答者数421人と当初の目標を上回り、相談窓口ニーズを測るための取組を通じて、効果的な事業構築が図れたとともに、働く女性の課題や悩み、必要としている支援の傾向を知ることができた。
また、企業への事業説明を通して、企業側の課題を知ることができ、職場環境づくりに関する啓発の効果も持つことができた。

目的・目標

中小企業診断士等が働く上での課題に対して専門的なアドバイスを行う相談窓口を設置し、女性の健やかな就労継続と経済的自立の維持を支援するとともに、事業実施によって企業に向けた職場環境整備への意識付けを行う。

【事業目標】 相談者数 30人（実績値 32人）
アンケート回答者数 400人（実績値 421人）

連携団体

- 【委託事業者】
 - ・(株)ネクストディケイドコンサルティング
- 【その他の連携】
 - ・旭川商工会議所
 - ・北海道中小企業家同友会

今後の課題

「働く女性」に情報を届けることが非常に難しかったことから、企業を通じて自社の従業員に周知してもらう必要があるが、従業員が社外の相談窓口を利用することに想像以上に企業の忌避感があったため、企業にとっても本事業が貢献できることの理解獲得に努めるとともに、企業にとってのメリットを明確に示していく必要がある。

